

とやま呉西圏域都市圏ビジョン 〔第 1 回改訂版〕



平成 29 年 2 月

目 次

第1章 とやま呉西圏域における広域連携

1 都市圏ビジョン策定の趣旨	1
2 連携中枢都市圏の名称及び構成自治体	1
（1）連携中枢都市圏の名称	1
（2）連携中枢都市圏の構成自治体	1
3 計画期間	1

第2章 とやま呉西圏域の現状

1 圏域の概要	2
（1）全体概要	2
（2）構成市の概要	3
2 圏域の人口	6
（1）将来人口推計	6
（2）人口構成	7
（3）人口動態	8
3 圏域の産業	9
（1）工業	9
（2）農業・漁業	11
（3）観光	13
4 都市機能の集積状況	14

第3章 とやま呉西圏域の将来像

1 圏域が目指す将来像	20
2 圏域づくりの基本方針	21
3 重点プロジェクト	25

第4章 連携協約に基づき推進する具体的取組

1 連携事業	26
（1）圏域全体の経済成長のけん引	26
（2）高次の都市機能の集積・強化	31
（3）圏域全体の生活関連機能サービスの向上	34
2 進行管理	48
（1）基本目標	48
（2）重要業績評価指標（KPI）	49
（3）推進及びフォローアップ体制	51

資料編

第1章 とやま呉西圏域における広域連携

1 都市圏ビジョン策定の趣旨

人口減少・少子高齢化が進行する昨今の社会情勢の中、地域の再生、創生を果たすには、一定の規模と都市・生活機能を包括する広域的な地域において、人口や活力ある社会経済を維持することが重要です。

富山県西部6市で構成する「とやま呉西圏域」は、これまで圏域内での通勤・通学など、一体的な経済・生活圏を形成してきました。しかし、本圏域を含め、全国的に急速な人口減少が進行する中、圏域の活力を将来的に維持・向上するためには、圏域ネットワークの一層の強化を図り、地域経済の活性化や交流人口の拡大、定住の促進を図っていく必要があります。

本ビジョンは、圏域を構成する6市が持つそれぞれの個性・特性を活かし、圏域の発展に向けた新たな取り組みやこれまで進めてきた連携を更に深めることにより、圏域全体の経済成長や住民サービスの向上につなげる、中長期的な「圏域の将来像」を示す戦略として策定するものです。

2 連携中枢都市圏の名称及び構成自治体

(1) 連携中枢都市圏の名称

とやま呉西^{ごせい}圏域

(2) 連携中枢都市圏の構成自治体

高岡市、射水市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市

3 計画期間

2016年度（平成28年度）から2020年度（平成32年度）の5年間



第2章 とやま呉西圏域の現状

1 圏域の概要

(1) 全体概要

本圏域は、富山県の中央部に位置する呉羽丘陵の西部、県内7大河川に数えられる庄川及び小矢部川流域並びにこれらの河川が注ぎ込む富山湾の沿岸部に広がる約1,500k m²のエリアです。

この地域は、高岡市、射水市、氷見市、砺波市、小矢部市及び南砺市の6市から構成され、人口は約46万人（平成22年国勢調査）、県内に占める人口割合の41.9%、面積割合の34.8%となっており、県庁所在地の富山市（人口約42万人、面積約1,300k m²）とほぼ同規模の比較的コンパクトな圏域です。

圏域の特色・強みとして、産業面においては臨海工業地域を中心にアルミ、鉄鋼等の金属製品や化学産業が集積しており、高岡銅器や井波彫刻等の伝統産業も発達しています。またチューリップ球根、干柿、種もみ、ハトムギ、コシヒカリ、マグロ、寒ブリ、シロエビ、ベニズワイガニ、ホタルイカ、庄川あゆなどの全国的な知名度を誇る農林水産品を有しています。

観光面では、庄川峡、砺波平野の散居村、富山湾越しの立山連峰の景観、富山湾の海の幸など、山から海に至る豊かな自然環境と、世界文化遺産・五箇山合掌造り集落、倶利伽羅源平古戦場、大境洞窟住居跡、国宝・瑞龍寺、高岡御車山祭、城端曳山祭、高岡・山町筋や井波・城端の門前町など、歴史に培われた格調高い伝統・文化資産、また日本海側最大の斜張橋新湊大橋、海王丸パーク、氷見の漁業文化を伝える魚々座、砺波チューリップ公園など、多彩な観光資源を有しています。

交通体系においては、古くから舟運、海運のネットワークにより地域経済を発展させ、その後、北前船等により広域的な交流を広げてきた歴史があります。現在も北陸自動車道、東海北陸自動車道、能越自動車道といった高規格幹線道路網や日本海側の総合的拠点港である伏木富山港、北陸新幹線などの広域交通・物流網ほか、通勤・通学等、地域住民の足となる、あいの風とやま鉄道、JR城端線・氷見線、万葉線、コミュニティバスがあり、これらを域内外へ網羅的につなぐことにより、環日本海に向けた交流拠点としての存在感を有しています。

(2) 構成市の概要

○高岡市

高岡市は、東西軸と南北軸における広域交通網により県西部の各市をつなぐ要衝であり、環日本海に向かっては総合的拠点港を有する日本海側中央部の「扇の要」に位置しています。

加賀藩2代藩主前田利長公によって1609年（慶長14年）に高岡城が築かれ、町が開かれました。以来400年にわたり銅器、漆器や菅笠などの「ものづくりの技と心」を脈々と受け継ぎ、時代の流れの中で創意を積み重ねながら、県西部の中核都市として発展してきました。

平成27年3月、半世紀にわたる地域住民の悲願であった北陸新幹線の開業という「強み」を加え、本地域の更なる求心力を高めることにより、人・もの・情報が行き交う「交流拠点都市」の確立を目指しています。

○射水市

射水市は、富山県の中央に位置し、コンパクトな市域に、ユネスコが支援する「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟した富山湾をはじめ、川、野、里山などの豊かな自然、連綿と受け継がれてきた伝統文化、さらには5つの高等教育機関が立地するなど、魅力ある資源が集積しています。

また、日本海側を代表するランドマーク「新湊大橋」をはじめ、国際拠点港湾である伏木富山港新湊地区（富山新港）や高速道路、鉄道といった物流の拠点となる社会資本も備えています。このほかにも、独特の風情ある景色が広がる新湊の内川周辺は、映画やドラマのロケ地として全国に紹介されるなど、知名度も上がっています。

このような特性を生かし、数多くの確かな地域力とともに、「人の流れ」「物の流れ」の中心として発展し、将来を担う子どもたちをはじめ、誰もが笑顔にあふれ、夢と希望に満ちたまちづくりに取り組んでいます。

○氷見市

氷見市は、富山県の北西部、能登半島の基部に位置し、多くの幸をもたらしてくれる「青い海」と「みどり豊かな大地」を有し、人の心を引きつける自然の恵みに包まれています。

日本海側有数の氷見漁港には、四季を通じて豊富な魚種が水揚げされ、初夏の「マグロ」、冬の「寒ブリ」、そして「氷見鰯」は広辞苑にも掲載されるほど有名です。また、里山の幸にも恵まれ、はさがけ米や氷見牛、ハトムギなど豊かな食文化をはぐくんできました。さらに、日本ではじめて調査された洞窟住居跡「大境洞窟」や万葉の歌人大伴家持ゆかりの史跡など、歴史のロマンにも満ちあふれています。加えて、市内には温泉が湧出し「能登半島国定公園・氷見温泉郷」として親しまれ、このような恵まれた地域資源を活かした魅力的なまちづくりに取り組んでいます。

○砺波市

砺波市は、農・商・工のバランスの取れた田園都市として発展を遂げてきました。住環境をはじめ医療や子育て環境、高齢者福祉の充実した住みやすい都市として、民間経済誌でも常に全国上位にランクインされます。

庄川の清流が育んだ肥沃な平野に家屋が点在する「散居村」景観のなかに、日本有数のチューリップ球根や種もみの生産地として力強い農業が展開されており、観光面でも、チューリップ産業のシンボルイベントとして毎年GWに砺波チューリップ公園で開催される「となみチューリップフェア」は、国内外から数多くの観光客が訪れる春の風物詩として全国的な評価を受けています。

このほかにも花や地場産品を活かしたユニークなイベントや地域の文化や伝統がしっかりと受け継がれており、温かい市民気質のもと健全で安心な地域社会による住みよいまちづくりを進めています。

○小矢部市

小矢部市は、富山県の西の玄関口に位置し、砺波平野を貫流する小矢部川に育まれた穀倉地帯で、古くから小矢部川を利用した水運の発達により、加賀藩の藩倉が置かれたことから、宿場町・城下町として栄えてきました。

遠く加賀・能登を一望できる稲葉山牧野、清流と温泉の宮島峡、源平古戦場と日本三大不動寺の一つ倶利伽羅不動寺のある倶利伽羅県定公園などの豊かな自然や、歴史的な発見が続いた桜町縄文遺跡、絢爛豪華な石動曳山祭り、色彩豊かな津沢夜高あんどん祭り、獅子舞が奉納される石動天神祭など歴史や伝統にあふれています。また、能越自動車道、東海北陸自動車道、北陸自動車道の3つの高速道路が交差する交通の要衝でもあります。

平成27年7月には、日本海側初となるアウトレットモールがオープンし、北陸地方における商圈の中心地として注目を集めており、現在は、若者や女性を中心として定住希望者が増えるよう、アウトレットモールを活かしながら、まちづくりを進め、賑わいの創出に取り組んでいます。

○南砺市

南砺市は、富山県の南西部に位置し、約8割が白山国立公園等を含む森林であるほか、岐阜県境に連なる山々に源を発して庄川や小矢部川の急流河川が北流するなど、豊かな自然に恵まれています。市北部の平野部では、水田地帯の中に美しい「散居村」の風景が広がり、独特の集落景観を形成しています。五箇山地方では、日本の他の地域には見られない「合掌造り家屋」の集落が成立・発展するなど、独自の風土に根ざした、固有の文化を育んできました。

世界文化遺産をはじめとする歴史・文化資源や、伝統工芸・特産品を活用した多彩な観光イベントが四季を通じて市内各地で開催されており、これらの資源を連携し、交流人口の拡大、雇用の創出に取り組んでいます。

2 圏域の人口

(1) 将来人口推計

本圏域の総人口は 457,576 人（平成 22 年国勢調査）となっており、1986 年（昭和 60 年）の 491,217 人をピークに減少傾向が続いています。

近年では、若い世代の都市部への流出や出生率の低下等による人口減少と高齢化の進行、経済成長の低迷、それらに伴う中心市街地の空洞化が進んでおり、国立社会保障・人口問題研究所によると、圏域の人口は、2040 年（平成 52 年）時点において 333,973 人まで減少するものと推計されており、全国平均(16.2%)を大きく上回る 3 割近くの減少が見込まれています。

圏域の総人口と将来推計人口

(単位: 人、%)

	総人口	将来推計人口			増減率 (H22－H52)
	2010年 (H22)	2020年 (H32)	2030年 (H42)	2040年 (H52)	
高岡市	176,061	162,476	145,494	126,920	▲27.9
射水市	93,588	89,542	83,167	75,626	▲19.2
氷見市	51,726	45,621	39,209	32,767	▲36.7
砺波市	49,410	47,924	45,290	42,073	▲14.8
小矢部市	32,067	28,889	25,418	21,730	▲32.2
南砺市	54,724	48,214	41,491	34,857	▲36.3
とやま呉西圏域	457,576	422,666	380,069	333,973	▲27.0

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

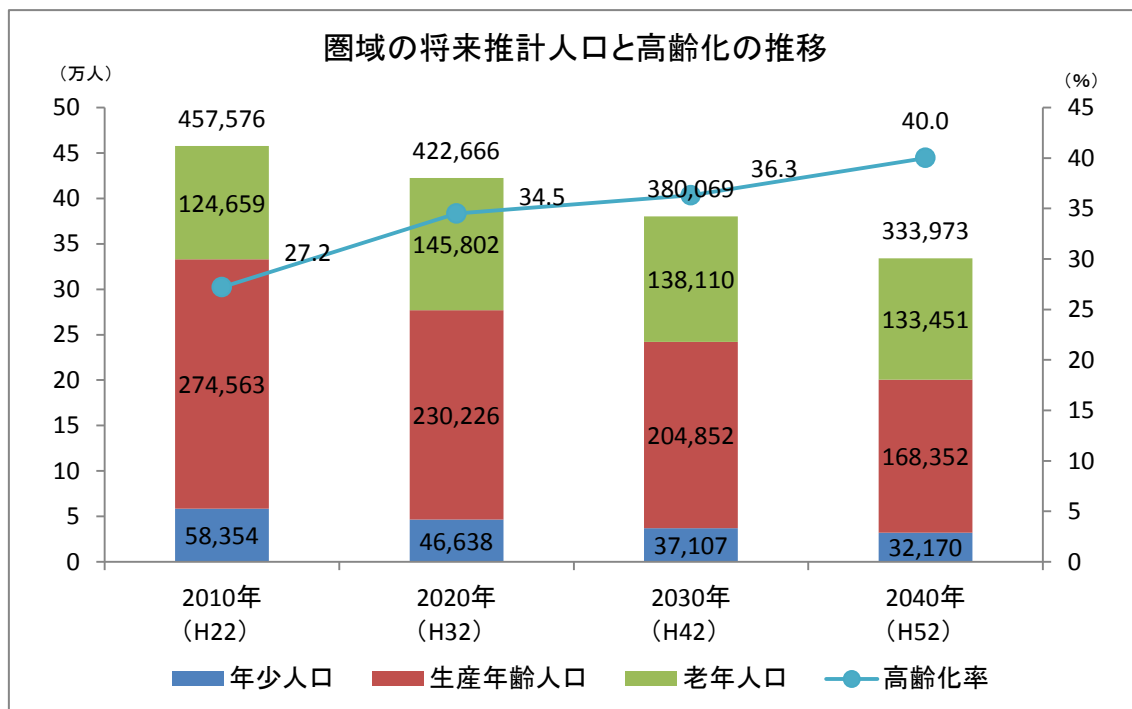
(2) 人口構成

本圏域の年齢別人口は、2010年（平成22年）時点における年少人口（0歳～14歳）、生産年齢人口（15歳～64歳）ともに減少傾向にあり、2040年（平成52年）時点では、年少人口は2010年と比較して44.9%減少し、58,354人から32,170人に、生産年齢人口は38.7%減少し、274,563人から168,352人になると推計されています。

このような生産年齢人口の減少が進むことにより、農林水産業、製造業等を中心とする地域産業の衰退や地域医療、保健・福祉サービスを担う人材不足に伴う生活関連機能の低下が懸念されます。

一方、老年人口（65歳以上）については、2010年時点の124,659人から2020年（平成32年）には145,802人へと増加する見込みとなっています。その後は緩やかに減少し、2040年には133,451人になると推計されています。

高齢化率は、2010年時点では27.2%と全国平均（23.0%）を上回っており、圏域住民の約3.7人に1人が高齢者（65歳以上）となっています。2040年には住民の約2.5人に1人が高齢者になると推測されており、高齢化率は40.0%（全国平均36.1%）になる見込みとなっています。

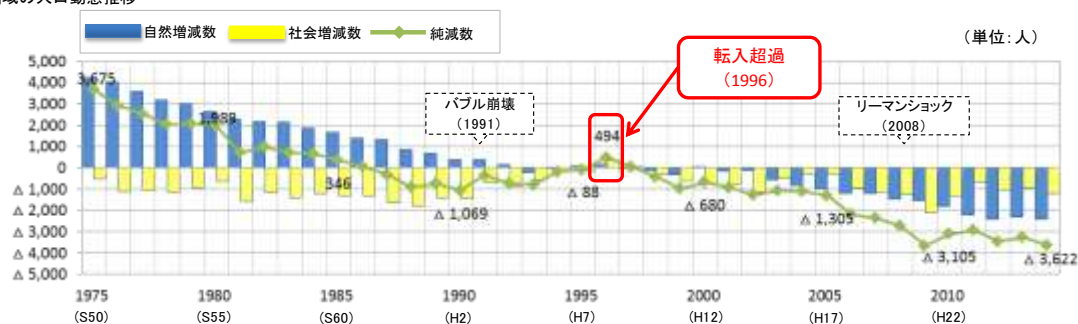


出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

(3) 人口動態

本圏域の人口動態は、1996年（平成8年）に自然増・社会増となり、一旦人口が増加に転じましたが、その後いずれも減少し、以降、現在まで人口減少の傾向が続いています。

圏域の人口動態推移



出典：富山県「人口移動調査」

圏域の人口移動状況（直近3年間）

（単位：人）

	2013年(H25)※1			2014年(H26)※2			2015年(H27)※3		
	転入数	転出数	社会増減数	転入数	転出数	社会増減数	転入数	転出数	社会増減数
高岡市	4,528	4,812	-284	4,221	4,598	-377	4,737	4,651	86
射水市	2,634	2,714	-80	2,490	2,499	-9	2,605	2,648	-43
氷見市	799	1,044	-245	752	1,040	-288	723	1,020	-297
砺波市	1,463	1,564	-101	1,473	1,614	-141	1,574	1,488	86
小矢部市	663	716	-53	609	693	-84	812	779	33
南砺市	1,021	1,357	-336	1,037	1,179	-142	997	1,256	-259
とやま西圏域	11,108	12,207	-1,099	10,582	11,623	-1,041	11,448	11,842	-394

※1 平成25年1月1日～平成25年12月31日

※2 平成26年1月1日～平成26年12月31日

※3 平成27年1月1日～平成27年12月31日

各市の住民基本台帳より算出

3 圏域の産業

本圏域の就業者の総数は、2010 年（平成 22 年）の国勢調査によると約 22.5 万人となっており、県内就業者数の約 42.1%を占めています。産業別の構成比をみると、第一次産業が 3.7%、第二次産業が 35.0%、第三次産業が 61.3%となっており、全国的な水準より、第二次産業比率が非常に高いといえます。（同年の全国比率 25.2%）

産業別就業者数と割合

（単位：人、%）

	第1次産業		第2次産業		第3次産業	
	就業者数	割合	就業者数	割合	就業者数	割合
高岡市	1,941	2.3	28,727	34.0	53,820	63.7
射水市	1,134	2.5	14,900	32.4	30,021	65.2
氷見市	1,216	4.9	9,166	37.0	14,417	58.1
砺波市	1,470	5.7	9,194	35.5	15,232	58.8
小矢部市	735	4.6	6,068	37.7	9,274	57.7
南砺市	1,867	6.7	10,830	38.7	15,307	54.7
とやま県西圏域	8,363	3.7	78,885	35.0	138,071	61.3

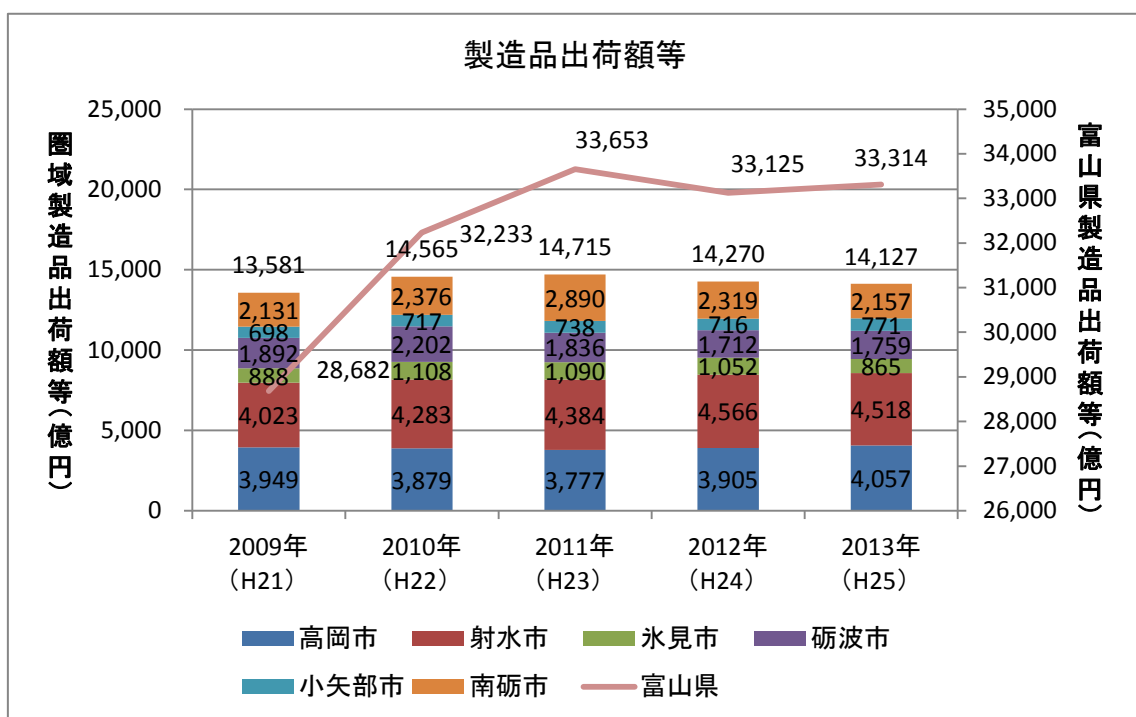
出典：平成22年国勢調査

（1）工業

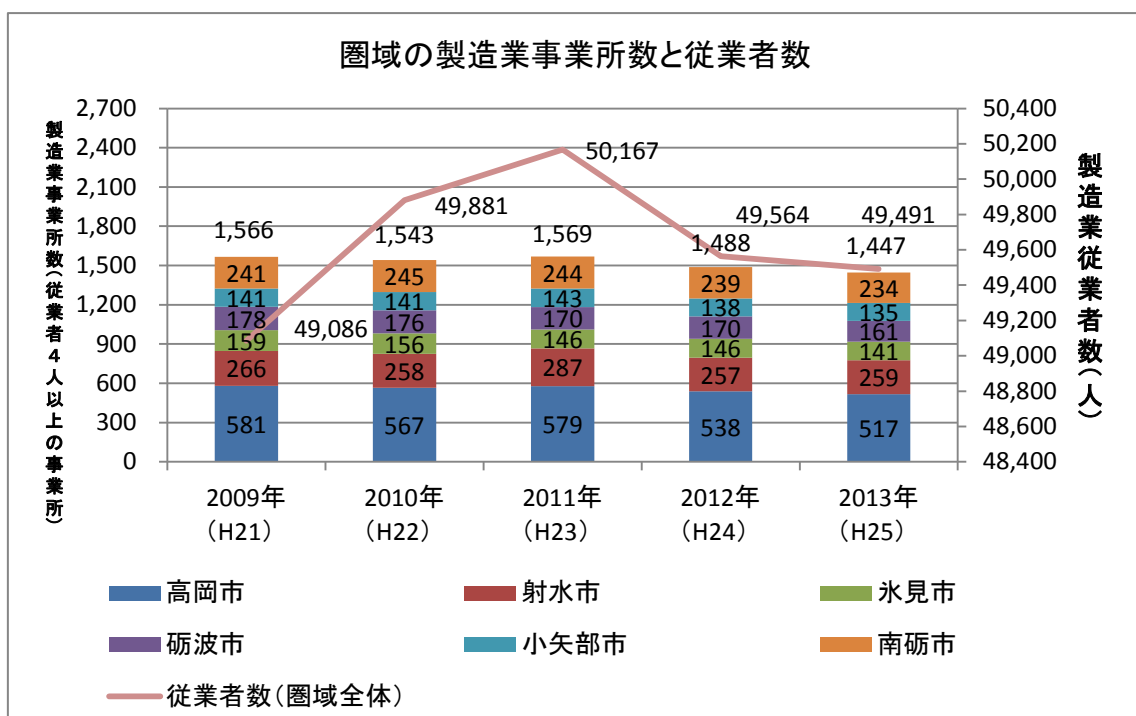
本圏域はアルミ、鉄鋼等の金属・非鉄金属製品を中心に、一般機械、電子部品、繊維、化学、電気機械等、ものづくり産業が集積しているほか、銅器、鋳物、木工などの伝統工芸産業も盛んであることから、県内の工業拠点としての役割を担っているといえます。

圏域全体の製造品出荷額は、2013 年（平成 25 年）時点では約 1.4 兆円となっており、県全体の製造品出荷額の約 42.4%を占めています。同年の製造業事業所数は 1,447 事業所となっており、2009 年（平成 21 年）と比較すると 119 事業所の減少となっています。また、製造業従業者数については、2009 年時点の 49,086 人から 405 人増え、2013 年時点では 49,491 人となっています。

直近 5 年間における製造品出荷額及び製造事業所数・従業者数については、リーマンショック翌年の 2009 年から 2011 年（平成 23 年）までは増加傾向にあったものの、その後 2 年間は横ばいで推移しています。



出典：工業統計調査



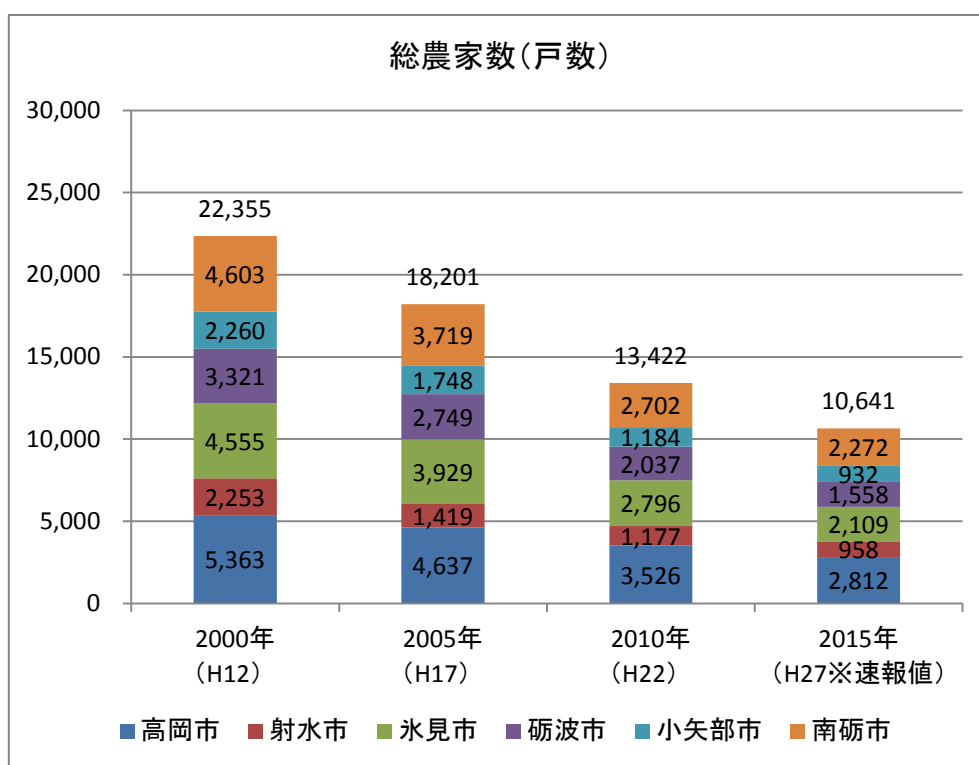
出典：工業統計調査

(2) 農業・漁業

本圏域では、砺波平野を中心に広がる穀倉地帯が、良質な米の産地となっているほか、干柿、里芋、利賀そば、赤かぶなどの特産品も数多く生産されています。また日本一の球根出荷量を誇るチューリップも有名で、春のチューリップフェアには全国から多くの人を訪れています。

圏域全体の農家戸数は2015年（平成27年速報値）で10,641戸となっており、県の約44.9%を占めています。経営耕地面積は24,549haとなっており、農家一戸あたりの平均経営面積は2.30haになります。

農業の担い手については全国的に減少傾向にあり、本圏域も同様、農家戸数は2000年（平成12年）の22,355戸から2015年（速報値）には5割以上減少しています。



出典：農林業センサス

本圏域は、北部が「天然のいけす」と言われる富山湾に面しており、定置網が張り巡らされる良好な漁場となっています。富山湾は非常に海底が深く、複雑で起伏に富んだ海底地形や、対馬暖流と日本海固有冷水が混交し、好漁場を形成しています。

湾岸には氷見漁港や新湊漁港があり、四季を通じ、初夏は「マグロ」、冬は「寒ブリ」、さらには「ベニズワイガニ」、「アマエビ」、「シロエビ」、「氷見鰯」、「ゲンゲ」など、豊富な海の幸を堪能することができます。

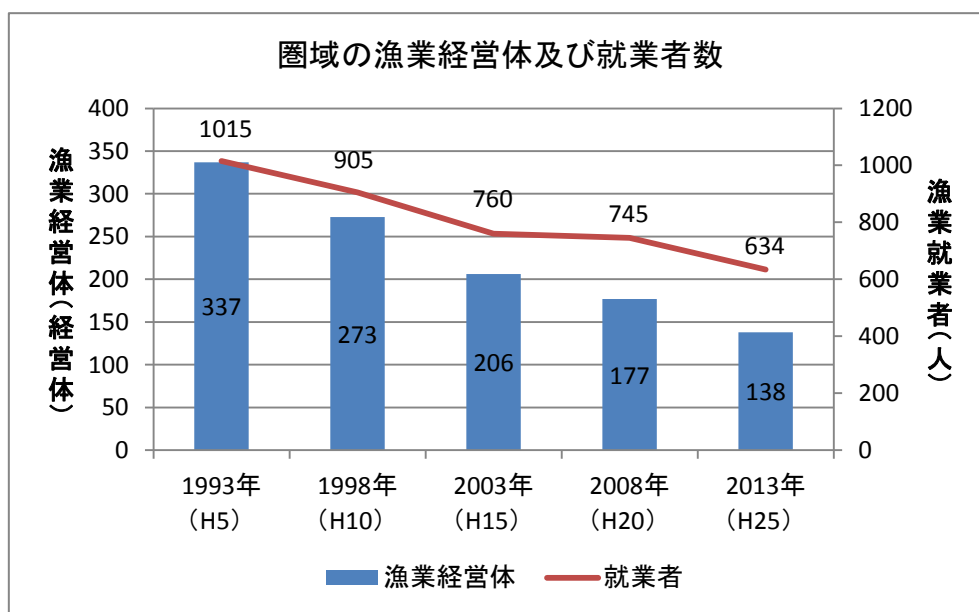


寒ブリ



ベニズワイガニ

漁業経営体及び漁業就業者（※高岡市・射水市・氷見市のみ）については、毎年減少しており、個人経営体は経営主の高齢化等による休廃業や後継者不足が課題となっています。



出典：漁業センサス

(3) 観光

本圏域の北部では、富山湾の氷見海岸から雨晴海岸にかけて、湾越しに3,000m級の立山連峰を間近に望むことができ、その景観は世界的にも珍しい大パノラマとなっています。南部では、砺波平野の水田地帯の中に屋敷林に囲まれた切妻屋根の農家が点在する「散居村」の美しい田園風景を見ることができます。世界遺産として登録されている五箇山地区では、冬の豪雪に耐えるため、屈強な構造を持った合掌造り家屋を見ることができます。



国宝瑞龍寺(高岡市)



海王丸パーク(射水市)



ひみ番屋街(氷見市)



砺波チューリップ公園
(砺波市)



クロスランドおやべ
(小矢部市)



世界文化遺産五箇山
合掌造り集落(南砺市)

直近3年間における圏域全体の入込数では、各年1,500万人を超える水準となっており、2014年(平成26年)時点では、県全体の入込数の53.8%を占めています。

構成市別入込数

(単位:千人)

	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)
高岡市	3,580	3,629	3,485
射水市	3,968	3,870	3,938
氷見市	2,007	2,165	1,878
砺波市	1,648	1,723	1,766
小矢部市	1,214	1,134	1,122
南砺市	3,186	3,446	3,426
とやま呉西圏域	15,603	15,967	15,615

出典：富山県観光客入込数(推計)

4 都市機能の集積状況

①高等教育機関、研究機関・産業支援機関

本圏域における高等教育機関は、2015年(平成27年)時点で5つあり、約2,800人の学生が在学しています。工学、法学、芸術、福祉等、知の拠点として企業・社会のニーズに応え、想像力と実践力を兼ね備えた社会の発展に役立つ人材を育成し、地域の発展に貢献しています。

また、公的な学術研究機関として、県工業技術センター、県農林水産総合技術センター等が整備されているほか、圏域のものづくりデザイン拠点となる県総合デザインセンターや全国唯一となる県立の薬事研究所など、産学官共同による研究・開発を推進しており、圏域産業の育成・高度化や地域の情報発信拠点として期待されています。

区分	高等教育機関名	学部・学科	学生数(人)	所在地
大学	富山大学	芸術文化学部	507	高岡市
	富山県立大学	工学部	1,027	射水市
	高岡法科大学	法学部	225	高岡市
短期大学	富山福祉短期大学	社会福祉学科	120	射水市
		看護学科	224	
		幼児教育学科	104	
高等専門学校	富山高等専門学校	電子情報工学科	225	射水市
		国際ビジネス学科	213	
		商船学科	234	

出典：平成27年度「富山県の高等教育機関」

区分	主な施設
研究機関等	富山県工業技術センター、富山県ものづくり研究開発センター、富山県総合デザインセンター、富山県農林水産総合技術センター 園芸研究所・木材研究所、富山県栽培漁業センター、富山県衛生研究所、富山県環境科学センター、富山県薬事研究所 など

②文化・スポーツ・観光施設等

本圏域では、各市において図書館や美術館、体育館等、様々な文化・スポーツ施設を整備しており、各地域の特色を活かした文化・スポーツ振興施策や施設の相互利用により、市民の生活の質の向上や交流人口の拡大に寄与しています。

また、海から山にかけての多彩な自然環境を備えるとともに伝統産業や文化財、祭礼行事、イベントなどの資源が豊富にあり、これらを核とした観光施設も整備されており、圏域の観光推進に活用されています。

区分	機能	主な施設
文化・スポーツ施設等	図書館	高岡市立中央図書館、射水市中央図書館、氷見市立図書館、砺波市立砺波図書館、小矢部市民図書館、南砺市立中央図書館など (19施設：高岡市5、射水市4、氷見市1、砺波市2、小矢部市2、南砺市5)
	美術館・博物館等	高岡市美術館、射水市新湊博物館、氷見市立博物館、砺波市美術館、アートハウスおやべ、南砺市福光美術館など (47施設：高岡市11、射水市8、氷見市1、砺波市6、小矢部市4、南砺市17)
	体育館等	高岡市民体育館、射水市新湊総合体育館、氷見市ふれあいスポーツセンター、富山県西部体育センター、小矢部市民体育館、南砺市福野体育館など (64施設：高岡市10、射水市8、氷見市2、砺波市17、小矢部市7、南砺市20)
	陸上競技場・野球場等	高岡西部総合公園野球場、歌の森運動公園野球場、氷見運動公園野球場、砺波総合運動公園、小矢部陸上競技場、福光総合グラウンドなど (13施設：高岡市5、射水市2、氷見市1、砺波市2、小矢部市2、南砺市1)

区分	所在地	主な施設等
観光資源	高岡市	国宝瑞龍寺、勝興寺、高岡大仏、高岡御車山会館、金屋町・山町筋の町並み、高岡城跡（古城公園）、万葉歴史館、ミュゼふくおかカメラ館、藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー、高岡御車山祭、伏木曳山祭、福岡つくりもんまつり など
	射水市	新湊大橋、海王丸パーク、県民公園太閤山ランド、竹内源造記念館、陶房「匠の里」、大島絵本館、新湊きつときと市場、いきいき射水・太閤山フェスティバル、新湊曳山祭 など
	氷見市	ひみ漁業交流館魚々座、氷見市潮風ギャラリー（藤子不二雄④アートコレクション）、氷見市 藤子不二雄④まんがワールド、氷見市海浜植物園、朝日山公園、氷見漁港場外市場ひみ番屋街、氷見温泉郷総湯、柳田布尾山古墳、大境洞窟住居跡、祇園祭り など
	砺波市	チューリップ公園、チューリップ四季彩館、庄川水記念公園、庄川峡、庄川温泉郷、夢の平スキー場、となみ散居村ミュージアム、出町子供歌舞伎曳山会館、増山城跡、となみチューリップフェア、庄川観光祭、砺波夜高祭、庄川水祭り、コスモスウォッチング、庄川ゆずまつり、KIRAKIRAミッション など
	小矢部市	桜町遺跡、埴生護国八幡宮、クロスランドおやべ、稲葉山牧場、俱利伽羅古戦場、宮島峡県定公園、石動曳山祭、津沢夜高あんどん祭、天神獅子舞祭り、源平火牛まつり など
	南砺市	相倉・菅沼合掌造り集落、瑞泉寺、井波彫刻総合会館、閑乗寺公園、タカンボースキー場、くろば温泉、IOX-AROSA、棟方志功記念館、たいらスキー場、そばの郷、城端曳山会館、桜ヶ池クアガーデン、福野夜高祭、城端曳山祭、スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド、南砺利賀そば祭り など

区分	所在地	主な店舗
大型商業施設 (店舗面積 5,000㎡以上) 等	高岡市	イオンモール高岡、御旅屋セリオなど
	射水市	コストコホールセール射水倉庫店、アル・プラザ小杉など
	氷見市	プラファ、氷見ショッピングセンター（ハッピータウン）など
	砺波市	イオンモールとなみ、アビタ砺波など
	小矢部市	三井アウトレットパーク北陸小矢部、ピアゴ小矢部店など
	南砺市	福野ショッピングゾーンア・ミュー、楽蔵グリーンモール福光など

出典：富山県ホームページ「大規模小売店舗の概要」（平成28年4月1日現在）

③医療機関

本圏域は高岡市・射水市・氷見市で構成する高岡医療圏と、砺波市・小矢部市・南砺市で構成する砺波医療圏として、これまで保健・医療と福祉に係る連携を図ってきました。圏域内の医療施設は病院が43施設あり、そのうち公的病院が11施設となっています。これらの公的病院は、各医療圏において核となる医療機能を提供しており、その他の医療施設との連携のもとで、高度な医療サービスの提供及び地域医療の体制確立に向けて機能充実を図っています。

医療施設数等の状況

(単位: 所、床)

	病院	病床数	一般診療所		歯科診療所
				病床数	
高岡市	17	2,854	134	137	82
射水市	6	775	55	81	35
氷見市	4	407	31	49	15
砺波市	6	962	39	12	16
小矢部市	6	644	15	19	11
南砺市	4	739	33	38	17
とやま呉西圏域	43	6,381	307	336	176

出典：平成27年「医療施設調査」（平成27年10月1日現在）

拠点病院等の状況

機能	医療機関・施設名
三次救急医療機関 (救命救急センター)	厚生連高岡病院（1施設：高岡市）
二次救急医療機関	厚生連高岡病院、高岡市民病院、JCHO高岡ふしき病院、済生会高岡病院、射水市民病院、金沢医科大学氷見市民病院、市立砺波総合病院、北陸中央病院、南砺市民病院 （9施設：高岡市4、射水市1、氷見市1、砺波市1、小矢部市1、南砺市1）
休日・夜間急病センター	高岡市急患医療センター、砺波医療圏急患センター （2施設：高岡市、砺波市）
地域周産期母子医療センター	厚生連高岡病院、市立砺波総合病院 （2施設：高岡市、砺波市）
がん診療連携拠点病院	[国指定] 厚生連高岡病院、高岡市民病院、市立砺波総合病院 （3施設：高岡市2、砺波市1） [県指定] 済生会高岡病院（1施設：高岡市）
地域災害拠点病院	厚生連高岡病院、高岡市民病院、市立砺波総合病院 （3施設：高岡市2、砺波市1）

出典：富山県医療計画(平成25年3月改訂版)

④公共交通等ネットワーク

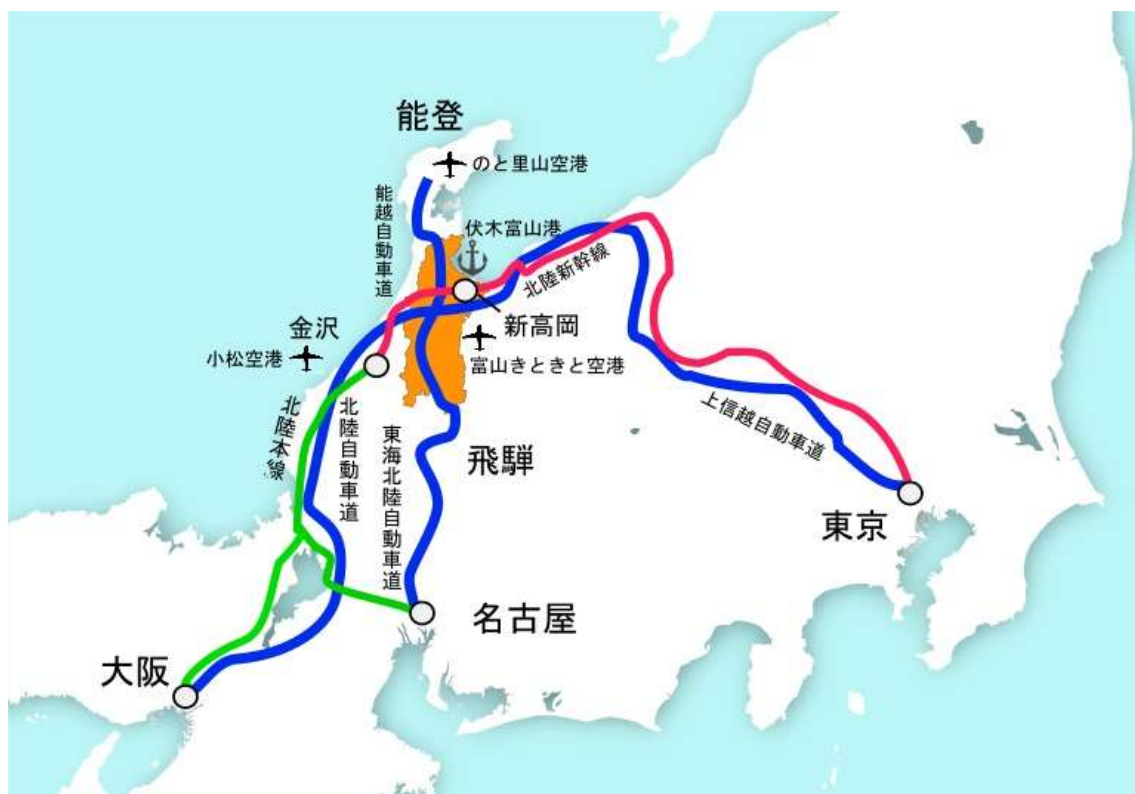
本圏域は、日本列島のほぼ中央に位置しており、東に富山市、西に金沢市と隣接しています。また、3大都市圏からほぼ等距離に位置しており、鉄軌道や高速道路等によるアクセスが確保されています。

鉄軌道は、圏域を横断する北陸新幹線とあいの風とやま鉄道、また、高岡市を起点として海側に JR 氷見線と万葉線の2路線、山側に JR 城端線の計3路線が南北方向の鉄道ネットワークとして形成されています。

道路では、広域幹線道路として北陸自動車道、国道8号、359号、415号が東西に横断しています。南北には、中京圏と直結する東海北陸自動車道と能登半島に伸びる能越自動車道といった高規格道路のほか、国道156号、160号、304号による道路ネットワークが形成されています。

また、日本海側の「総合的拠点港」である伏木富山港（伏木地区・新湊地区）を有し、国際定期航路や充実した港湾施設により、環日本海交流の中核を担う貿易港として期待されています。

富山きときと空港や隣県である石川県の小松空港、のと里山空港など、空路も近接しており、陸・海・空の広域交通網が充実している本圏域は、広域的な交流拠点として発展する高い資質を備えているといえます。



圏域の道路・鉄軌道等ネットワークの状況



第3章 とやま呉西圏域の将来像

1 圏域が目指す将来像

とやま呉西圏域の将来像

環日本海の中核拠点

本圏域は高規格幹線道路や鉄軌道、港湾等が集結する広域交通の結節点であり、国内のみならず、日本海対岸諸国も視野に入れた広域的な交流・交易拠点という特色を活かし、「**環日本海の中核拠点**」を目指します。

また、連携中枢都市圏としての拠点形成を活かした新たな取り組みや、これまで重層的に進めてきた各種連携プログラムの充実・強化、さらに、各市の総合戦略における人口減少対策などを網羅的に進めることにより、**30万人の人口規模を維持する圏域**の形成を図ります。

とやま呉西圏域の将来人口展望

(単位:人)

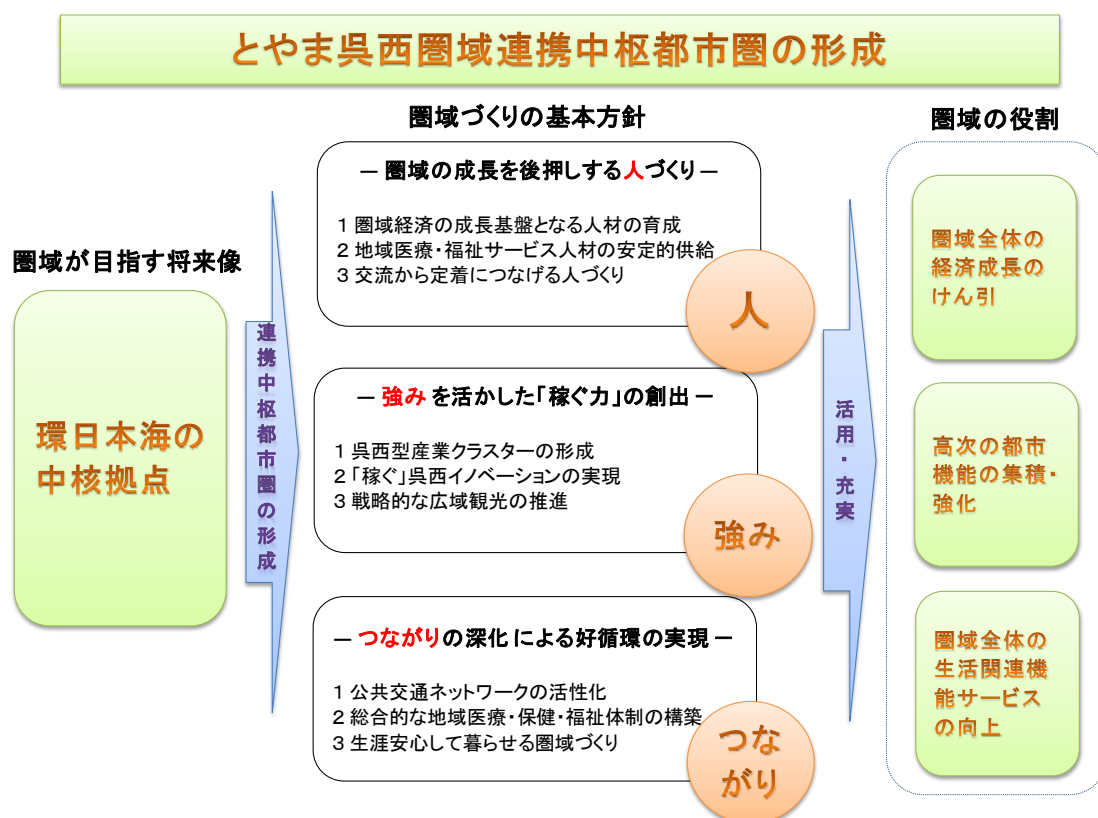
	2010年 (H22年) 国勢調査	2020年 (H32年)	2040年 (H52年)	2060年 (H72年)	
		社人研推計		社人研準拠 ※1	目標人口 ※2
高岡市	176,061	162,476	126,920	92,014	125,000
射水市	93,588	89,542	75,626	60,421	72,000
氷見市	51,726	45,621	32,767	21,867	30,129
砺波市	49,410	47,924	42,073	34,698	40,000
小矢部市	32,067	28,889	21,730	14,991	22,000
南砺市	54,724	48,214	34,857	23,554	30,000
とやま呉西圏域	457,576	422,666	333,973	247,545	319,129

※1 国の将来推計用ワークシートによる各市の2060年推計値を合算し算出。

※2 各市の人口ビジョンに記載された目標人口（将来人口推計）を合算し算出。

2 圏域づくりの基本方針

本圏域が目指す将来像「環日本海の中核拠点」の実現に向けて、圏域の「人」、「強み」、「つながり」の活用・充実を大きな柱とした9つの基本方針に基づき、本圏域の連携中枢都市圏としての役割を果たすとともに、圏域各市の機能分担を図りながら、産業、観光、地域交通、医療・福祉等、各分野における連携施策に取り組めます。



「人」－圏域の成長を後押しする人づくり－

人口減少・少子高齢化を中心とする圏域が抱える課題を克服し、圏域の成長を後押しする人材の育成を推進します。

〔基本方針〕

① 圏域経済の成長基盤となる人材の育成

起業・創業や新成長分野への挑戦に対する支援、圏域の課題解決に向けた大学・行政間の連携推進により、環日本海交流を担う人材の育成を図ります。

【連携事業】

- ・ とやま呉西圏域共創ビジネス研究所運営事業
- ・ 起業・創業支援事業
- ・ ものづくり開発人材育成事業
- ・ 大学が取り組む広域的な課題解決に向けた連携の推進
- ・ 歴史的建造物の保全・活用事業
- ・ 職員人事交流・統一的な職員研修

② 地域医療・福祉サービス人材の安定的供給

新設学校を活かした看護人材確保、児童発達支援に係る職員研修や派遣による専門家養成など、地域医療・福祉サービスを担う人材の育成を図ります。

【連携事業】

- ・ 看護人材育成事業
- ・ こども福祉支援相互連携事業

③ 交流から定着につなげる人づくり

圏域の住環境に関する情報発信や定住・移住ネットワークの構築により、首都圏など域外からの人を呼び込み、域内交流や定着人口の増加を図ります。

【連携事業】

- ・ 定住・移住トータルサポート事業
- ・ 就業マッチング支援事業
- ・ スポーツ大会・合宿等誘致促進事業
- ・ 呉西圏域ポイントサービス事業

「強み」ー強みを活かした「稼ぐ力」の創出ー

圏域の特色である金属製品産業等の更なる集積や多彩な観光資源を活用した広域観光の推進により、「稼ぐ力」を創出する取り組みを展開します。

〔基本方針〕

① 呉西型産業クラスターの形成

産学官金が連携して、域外に優位性を持つ産業を核とした新技術・新製品の開発支援や環境整備等により、高度な産業集積の推進を図ります。

【連携事業】

- ・ 高機能素材研究活動支援事業
- ・ 企業誘致の一体的推進

② 「稼ぐ」呉西イノベーションの実現

圏域内外の企業間による異業種交流の推進や地域資源のブランディング、発信力強化により、圏域産業の高付加価値化・競争力強化を図ります。

【連携事業】

- ・ 異業種交流促進事業
- ・ 伝統産業連携PR事業
- ・ 呉西圏域ブランド育成事業

③ 戦略的な広域観光の推進

圏域の多彩な自然や文化、地域資源を活かした戦略的なプロモーションや旅行商品の開発等により、圏域全体の観光誘客・交流人口の増加を図ります。

【連携事業】

- ・ 呉西観光誘客推進事業

「つながり」－ つながりの深化による好循環の実現－

圏域の連携の軸となる公共交通ネットワークの充実を通じ、人・もの・情報の交流の更なる活性化を図るとともに、各市の資源や文化、異なる分野の事業の連携により、新たな産業や地域のあり方の創造を推進します。

〔基本方針〕

① 公共交通ネットワークの活性化

圏域全体に波及効果をもたらす公共交通ネットワークの機能強化・利便性向上により、「人・もの・情報」の交流を支える交通基盤整備を図ります。

【連携事業】

- ・ 広域的公共交通ネットワーク強化事業
- ・ 地域公共交通活性化事業

② 総合的な地域医療・保健・福祉体制の構築

高度な医療サービスの提供や診療情報ネットワークの強化に向けた連携推進により、地域医療・保健・福祉の更なる充実を図ります。

【連携事業】

- ・ 高度な医療サービス連携事業
- ・ 電子カルテの共有化
- ・ 成年後見センター設置事業
- ・ 人間ドック・特定健診推進事業

③ 生涯安心して暮らせる圏域づくり

公共施設の相互利用促進や生活関連機能の連携強化により、災害対策など市域を超えた課題への対応や各種住民サービスの向上を図ります。

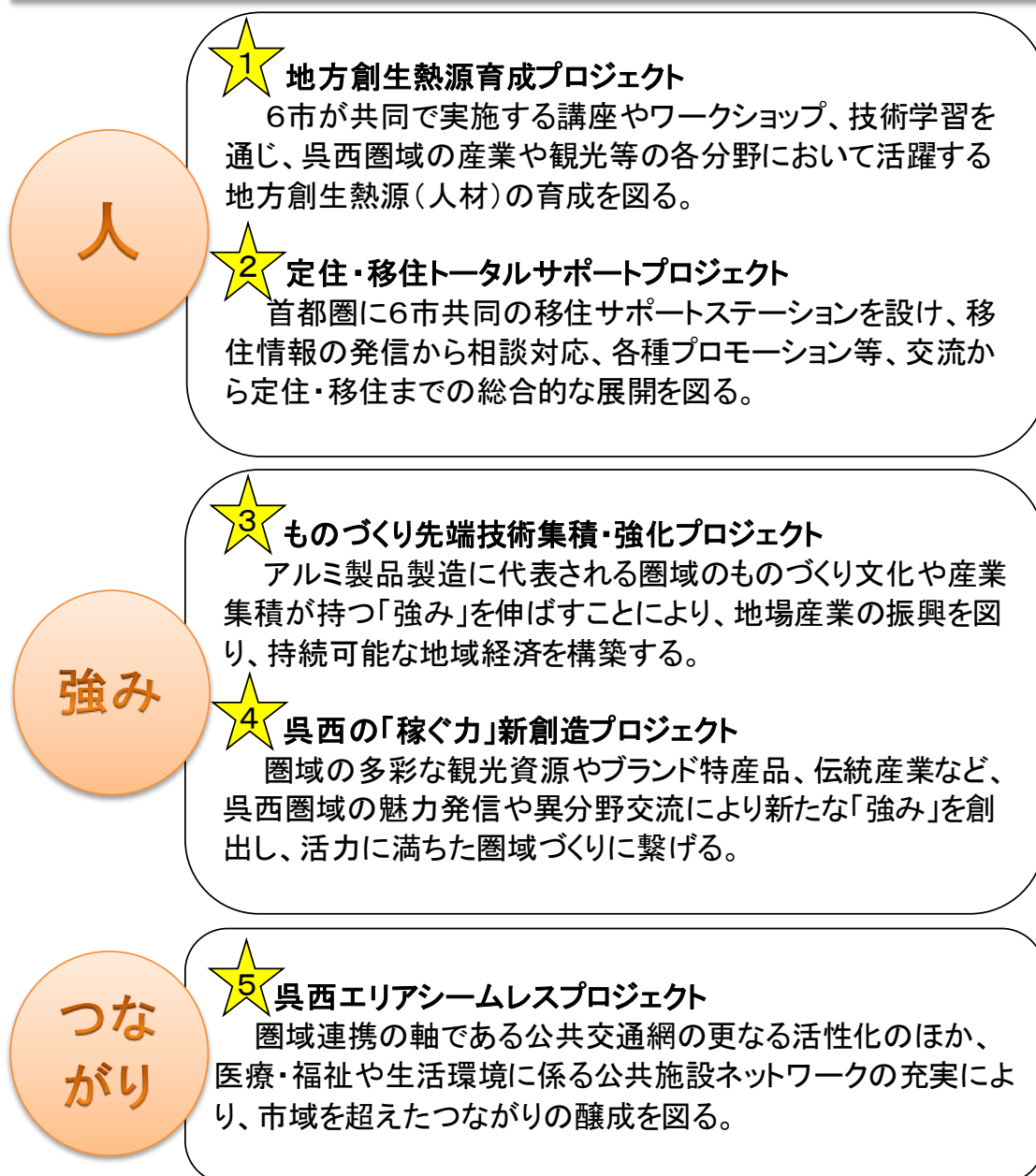
【連携事業】

- ・ とやま呉西圏域都市圏ビジョン推進事業
- ・ 広域防災連携事業
- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 庄川左岸地区洪水対策連携事業
- ・ 環境と共生する社会経済形成事業
- ・ 生活関連機能相互連携事業
- ・ 公共施設マネジメント推進事業
- ・ 権限移譲に係る調査・研究

3 重点プロジェクト

本圏域が目指す将来像と圏域づくりの基本方針に基づき、「人を育て、強みを伸ばし、つながりを築く」、圏域において特に注力して取り組むプロジェクトを『5星（呉西）－FIVE☆STAR－プロジェクト』と位置付け、人口減少への対応や持続可能な地域経済の確立に向けた効果的な施策として推進します。

5星（呉西）－FIVE☆STAR－プロジェクト



第4章 連携協約に基づき推進する具体的取組

1 連携事業

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

① 産学金官民一体となった圏域の成長戦略の策定

【連携協約の内容】

構成市で組織する協議会や産学金官民によるビジョン懇談会など、推進体制を整備・運営し、圏域の成長戦略である都市圏ビジョンの推進を図る。

事業名	とやま呉西圏域都市圏ビジョン推進事業			関係市	全市	
事業概要	圏域の中長期的な将来像や連携協約に基づく具体的取組等を定める都市圏ビジョンの推進を図る。 〔主な事業〕 ・とやま呉西圏域都市圏ビジョンの策定・推進 ・圏域の産学金官民の関係機関・団体等で構成するビジョン懇談会の実施					
期待される効果	地域の活性化や持続可能な経済の構築、圏域住民の安心で快適な暮らしの営みにつながることが期待できる。					
事業費見込額 (千円)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	計
	12, 441	800	800	800	3, 000	17, 841
国・県補助事業の 名称・補助率等	新たな広域連携促進事業（国10/10）※H28のみ					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・高岡市及び射水市は、本事業の実施に係る調整及び取りまとめを行う。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。（原則人口割）					

② 産業クラスターの形成、イノベーションの実現、新規創業促進

【連携協約の内容】 異業種交流や新規創業促進、研究機関との共同開発等に係るサポート体制を構築・推進し、圏域の戦略産業の育成に取り組む。

事業名	とやま呉西圏域共創ビジネス研究所運営事業			関係市	全市	
事業概要	地域課題を地元中小企業のビジネスにつなげることで、民間活力による住民サービスの向上と地元中小企業の活性化を図ることを目的に、主に富山大学「高度差4000」と連携したゼミ形式の講座を運営する。					
期待される効果	・ 民間活力（プロジェクト事業創出）による地域課題の解決 ・ 地元中小企業の活性化、地域人材の育成 ・ 産官学金のさらなる連携の推進・強化					
事業費見込額 （千円）	2016（H28）	2017（H29）	2018（H30）	2019（H31）	2020（H32）	計
	0	2,500	2,500	2,500	2,500	10,000
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担 等に係る基本的 な考え方	・ 高岡市は、本事業の実施に係る事務局として調整及び取りまとめを行う。 ・ 他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・ 費用負担は、関係市の協議において決定する。（原則人口割）					

事業名	起業・創業支援事業			関係市	全市	
事業概要	圏域における起業・創業の拡大に向け、新たな掘り起しや一体的なサポートに取り組む。 〔主な事業〕 ・起業・創業サポート体制を構築（育成支援セミナーや実践塾等の実施） ・インキュベーション施設のあり方について研究					
期待される効果	起業・創業支援に関する情報共有・発信体制を構築することにより、圏域内における起業・創業者の増加が期待される。また、起業・創業の受け皿となるインキュベーション施設の安定的な確保等の創業支援につながる。					
事業費見込額 （千円）	2016（H28）	2017（H29）	2018（H30）	2019（H31）	2020（H32）	計
	0	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・高岡市は、本事業の実施に係る事務局として調整及び取りまとめを行う。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。（原則人口割）					

事業名	異業種交流促進事業			関係市	全市	
事業概要	圏域内の企業交流や域外企業との新たなビジネスマッチングの実現に向けた機会創出を推進する。 〔主な事業〕 ・異業種企業間の情報交換会、合同研修会 ・展示会への共同出展、企業への出展補助					
期待される効果	圏域産業のイノベーションを図ることができるとともに、都市圏企業と圏域企業との交流により、新たなビジネスマッチングが期待できる。					
事業費見込額 (千円)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	計
	0	9,000	9,000	9,000	9,000	36,000
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・高岡市及び射水市は、本事業の実施に係る調整及び取りまとめを行う。 ・高岡市は、異業種企業間のマッチング促進に係る事務を統括する。 ・射水市は、展示会出展に係る事務を統括する。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。					

事業名	ものづくり開発人材育成事業			関係市	全市	
事業概要	圏域内にある高度専門的な研究機関と企業による共同研究・開発の促進を図り、ものづくり開発人材の育成強化につなげる。					
期待される効果	研究機関の利活用を促進することにより、企業や学生の人材育成強化・マッチング機会の創出につながることが期待される。					
事業費見込額 (千円)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	計
	0	3, 000	3, 000	3, 000	3, 000	12, 000
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・高岡市及び射水市は、本事業の実施に係る調整及び取りまとめを行う。 ・高岡市は、人材の育成強化に係る事務を統括する。 ・射水市は、共同研究・開発の促進に係る事務を統括する。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。（原則人口割）					

③ 地域資源を活用した商品・サービスの開発、販路開拓の推進

【連携協約の内容】

伝統産業や農林水産物等の地域資源を活用した、新商品の開発や販路開拓、ブランド育成等により、圏域経済の裾野拡大に取り組む。

事業名	伝統産業連携PR事業			関係市	高岡市・氷見市 砺波市・南砺市	
事業概要	圏域内における伝統産業を一体でPRする。 〔主な事業〕 ・新高岡駅を起点とする伝統的工芸品等の産地をめぐる体験ツアーの企画 ・各市の伝統産業を扱う施設等で圏域内の伝統産業製品の展示・販売、PRの実施					
期待される効果	圏域が誇る伝統産業の醸成を図り、後継者不足の克服や販路拡大につながる ことが期待できる。					
事業費見込額 (千円)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	計
	0	7,000	2,000	2,000	2,000	13,000
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負 担等に係る基本的 な考え方	・高岡市は、本事業の実施に係る事務局として調整及び取りまとめを行う。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。					

事業名	呉西圏域ブランド育成事業			関係市	全市	
事業概要	圏域の農林水産業の振興に向け、生産者と企業等が連携を図り、呉西圏域ブランドの育成につなげるとともに、圏域内の消費の定着化を図る。					
期待される効果	生産者と企業等のマッチングによる新事業の展開や地産地消の推進につながる。					
事業費見込額 (千円)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	計
	0	5, 000	35, 000	35, 000	35, 000	110, 000
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・高岡市は、本事業の実施に係る事務局として調整及び取りまとめを行う。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。					

④ 戦略的な観光施策

【連携協約の内容】

観光資源の連携によるマーケティング及びブランディングを推進し、国内外の誘客促進につながる戦略的な観光施策に取り組む。

事業名	呉西観光誘客推進事業			関係市	全市	
事業概要	圏域の多彩な観光資源（自然・文化・産業遺産等）の連携によるマーケティング・ブランディングにより、圏域の観光エリアのPR強化・充実に努め、観光誘客を図る。					
期待される効果	・交流人口拡大による地域経済の活性化 ・交流促進による、観光地周辺を中心とする地域コミュニティの活発化					
事業費見込額 （千円）	2016（H28）	2017（H29）	2018（H30）	2019（H31）	2020（H32）	計
	10,000	15,000	15,000	15,000	15,000	70,000
国・県補助事業の 名称・補助率等	地方創生加速化交付金（国10/10）					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・高岡市は、本事業の実施に係る事務局として調整及び取りまとめを行う。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。					

(2) 高次の都市機能の集積・強化

① 高度な医療サービスの提供

【連携協約の内容】

がん医療等における高度な医療サービスの安定的供給や地域医療の質の向上につながる、医療連携の促進や機能強化・充実に取り組む。

事業名	高度な医療サービス連携事業			関係市	高岡市・氷見市 砺波市・小矢部市・南砺市	
事業概要	がんや循環器疾患、脳卒中、さらには糖尿病など生活習慣病に代表される慢性疾患など、様々な疾病に対する高度な医療サービスの提供に向け、公的機関や民間病院などが連携し、それぞれの機能に合わせた役割分担を図りながら、サービスの維持・向上や人材の育成・確保につなげる。					
期待される効果	高度な医療サービスを提供する公的病院や民間病院の連携強化を図り、圏域で共有する都市機能として活用することにより、持続可能な医療サービスの提供の維持・向上につながる。					
事業費見込額 (千円)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	計
	0	20,000	20,000	20,000	20,000	80,000
国・県補助事業の 名称・補助率等	0					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・高岡市及び砺波市は、本事業の実施に係る調整及び取りまとめを行う。 ・高岡市は、高岡医療圏に係る事務を統括する。 ・砺波市は、砺波医療圏に係る事務を統括する。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。					

② 広域的公共交通網の構築

【連携協約の内容】

鉄軌道を中心とする各種公共交通の連携強化を図り、利用促進や利便性の向上につながる広域的公共交通網の構築・推進に取り組む。

事業名	広域的公共交通ネットワーク強化事業			関係市	全市	
事業概要	城端・氷見線沿線公共交通網形成計画等に基づく各種施策の展開や万葉線のＩＣカード導入検討など、鉄軌道の連携強化を骨格とした各種公共交通ネットワークの活性化を図る。					
期待される効果	圏域の都市機能と共存した環境整備をすることにより、地域公共交通の活性化のほか、まちのにぎわい創出や人の交流促進が期待できる。					
事業費見込額 (千円)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	計
	0	126, 500	351, 500	351, 500	176, 500	1, 006, 000
国・県補助事業の 名称・補助率等	・ 幹線鉄道等活性化事業費補助金 ・ 地域公共交通確保維持改善事業					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・ 高岡市及び射水市は、本事業の実施に係る調整及び取りまとめを行う。 ・ 高岡市は、圏域全体の公共交通活性化施策に係る事務を統括する。 ・ 射水市は、路面電車等の利便性向上施策に係る事務を統括する。 ・ 他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・ 費用負担は、関係市の協議において決定する。					

③ 高等教育・研究開発の環境整備

【連携協約の内容】

高度専門的な研究施設整備や地域ニーズに対応する人材育成等に向け、圏域内の企業、大学、行政間の連携推進や活動支援に取り組む。

事業名	大学が取り組む広域的な課題解決に向けた連携の推進			関係市	全市	
事業概要	6市間における広域的または共通課題の解決に向けた調査研究及び各大学が取り組む学生が主体となった地域課題解決に向けた研究や富山県内7高等教育機関が連携し実施しているCOC+の目標実現に向けた取組みのうち、複数の自治体にまたがる事案について、共同して対応する。					
期待される効果	・広域的な課題に対する課題提案の共有⇒複数の自治体間での同一意識の共有 ・横断的な施策への課題提案					
事業費見込額 (千円)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	計
	0	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・射水市は、本事業の実施に係る事務局として調整及び取りまとめを行う。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。					

事業名	高機能素材研究活動支援事業			関係市	全市	
事業概要	圏域の産学官が連携し、圏域の強みを伸ばす高機能素材の研究開発の促進に向けた一体的な取り組みを展開する。 〔主な事業〕 ・地域産業のイノベーションに必要となる高機能素材の研究・開発に伴う活動支援 ・高機能素材分野における専門性と技術力の発信による高度な企業集積の促進 ・新技術・新素材の開発拠点として、富山大学が設置を目指す国際連携先端材料研究センターの誘致推進					
期待される効果	圏域に先端材料の研究・開発拠点が有り、その活用を圏域が一体となって支援することにより、機械金属、IT、繊維、化学工業など圏域内の各分野において波及効果をもたらし、経済成長や新産業の創出につながることを期待できる。					
事業費見込額 (千円)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	計
	0	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・高岡市は、本事業の実施に係る事務局として調整及び取りまとめを行う。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。（原則人口割）					

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

A 生活機能の強化に係る分野

① 地域医療・介護・福祉

【連携協約の内容】 病診連携の強化、看護人材の確保、子育て支援、ICTを活用した安定的な医療提供等、地域医療及び介護・福祉サービスの充実に取り組む。
--

事業名	看護人材育成事業			関係市	全市	
事業概要	圏域一丸となって地域医療に貢献できる資質の高い人材を養成し、市立の医療機関に限らない、より多くの看護師の確保と定着の促進を図る。 〔主な事業〕 ・富山県高岡看護専門学校（H29.4.1日開校）における修学金貸与制度の新設 ・圏域内病院を対象とした研修制度					
期待される効果	新設学校の積極的な活用・PRを図ることにより、圏域内における看護師の安定確保につながる。					
事業費見込額 （千円）	2016（H28）	2017（H29）	2018（H30）	2019（H31）	2020（H32）	計
	0	18,000	18,000	18,000	18,000	72,000
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・高岡市は、本事業の実施に係る事務局として調整及び取りまとめを行う。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。					

事業名	人間ドック・特定健診推進事業			関係市	全市	
事業概要	人間ドック及び特定健康診査の啓発活動や事業改善に向けた調査・研究を行う。 〔主な事業〕 ・人間ドック及び特定健康診査の啓発活動（ポスター、チラシの作成） ・人間ドック圏域間相互受検の研究（アンケート調査等）					
期待される効果	人間ドックの受検率及び特定健診の受診率が向上し、併せて情報の共有を図ることにより、より多くの疾病の早期発見・治療や予防対策、医療費の抑制につながる ことが期待できる。					
事業費見込額 （千円）	2016（H28）	2017（H29）	2018（H30）	2019（H31）	2020（H32）	計
	0	1,667	1,363	1,363	1,363	5,756
国・県補助事業の 名称・補助率等	国保特別会計事業（国・県・市それぞれ1/3）					
役割分担・費用負 担等に係る基本的 な考え方	・高岡市は、本事業の実施に係る事務局として調整及び取りまとめを行う。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。					

事業名	電子カルテの共有化			関係市	全市	
事業概要	地域医療の中核となる自治体病院の医療連携ネットワーク（れんけいネット（高岡医療圏）・となみ野メディカルネット（砺波医療圏））への参加を促し、病院・診療所間の連携の充実・強化を図る。また、将来的な両医療圏の相互連携を見据え、必要と考えられるシステムの導入等の検討を行う。					
期待される効果	圏域内における病院利用の利便性が向上し、住民が切れ目のない安心した医療を受けられるとともに、医療提供体制の効率化につながる事が期待できる。					
事業費見込額 （千円）	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	計
	0	0	23,000	6,000	6,000	35,000
国・県補助事業の 名称・補助率等	・ 地域医療再生基金 ・ ICTを活用した地域医療ネットワーク基盤の整備事業					
役割分担・費用負担等 に係る基本的な考え方	・ 高岡市及び砺波市は、本事業の実施に係る調整及び取りまとめを行う。 ・ 高岡市は、高岡医療圏に係る事務を統括する。 ・ 砺波市は、砺波医療圏に係る事務を統括する。 ・ 他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・ 費用負担は、関係市の協議において決定する。					

事業名	成年後見センター設置事業			関係市	全市	
事業概要	将来的な成年後見制度対象者の増加を見込み、相談から後見まで一貫した支援ができる成年後見センターを設置し、成年後見制度に係る各種業務等の共同利用を図る。					
期待される効果	後見事業への専門的、専従的な取り組みが可能となるほか、圏域で設置することにより、手続きの一元化やコスト節減が期待できる。					
事業費見込額 (千円)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	計
	0	0	0	14,500	13,500	28,000
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担等に 係る基本的な考え方	・高岡市は、本事業の実施に係る事務局として調整及び取りまとめを行う。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。（原則人口割）					

事業名	こども福祉支援相互連携事業			関係市	全市	
事業概要	(1) 圏域住民が6市の「こども医療費助成制度」を利用して圏域内の医療機関を受診する場合における助成方法を、現物支給に統一する。 (2) 研修会や派遣を通じ、児童発達支援に係る人材育成を図るとともに、施設運営のあり方や供給量について検討する。					
期待される効果	(1) 助成方法の統一により、手続きの煩雑さが解消され、利便性の向上が図られる。また、行政及び医療機関は事務負担の軽減が期待できる。 (2) 児童発達支援に係る人材育成や施設供給量の拡大により、各施設の職員レベルが向上し、圏域の児童発達支援体制の充実を図ることができる。					
事業費見込額 (千円)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	計
	1, 195	1, 236	1, 236	1, 236	1, 236	6, 139
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担 等に係る基本的な考え方	・ 高岡市及び射水市は、本事業の実施に係る調整及び取りまとめを行う。 ・ 高岡市は、児童発達支援施策に係る事務を統括する。 ・ 射水市は、こども医療費助成制度の現物支給統一に係る事務を統括する。 ・ 他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・ 費用負担は、関係市の協議において決定する。					

② 教育・スポーツ

【連携協約の内容】

施設の相互活用、スポーツ活動の機会の充実、交流の促進、競技力の向上等、圏域のスポーツ振興施策に取り組む。

事業名	スポーツ大会・合宿等誘致促進事業			関係市	全市	
事業概要	スポーツの振興を通じて地域の活性化を図るため、全国・国際規模のスポーツ大会等を誘致し、スポーツ施設や宿泊施設の相互の活用などを推進する。					
期待される効果	・施設の利用率向上や特色あるスポーツ振興の推進が期待できる。 ・全国・世界のトップアスリートとの交流を通して、トップレベルの技術を身近に触れる機会を充実することにより、ジュニア選手をはじめとする圏域のスポーツ競技力の向上が期待できる。					
事業費見込額 (千円)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	計
	0	600	30,000	30,000	30,000	90,600
国・県補助事業の 名称・補助率等	・スポーツ拠点づくり推進事業 ・スポーツ振興くじ助成金					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・本事業は、競技種目に応じて主体となる市を決定する。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。					

③ 地域振興

【連携協約の内容】

地域のにぎわい創出、企業誘致の推進、雇用機会の確保等、地域振興に係る各種施策に取り組む。

事業名	呉西圏域ポイントサービス事業			関係市	全市	
事業概要	6市共通テーマとなる各市の事業に参画する市民にポイントを付与し、一定のポイント数に応じ、行政サービスや施設利用等に使用できる金券や特産品等と交換できるサービスを検討する。 〔主な事業〕 ・健康づくりに関する個人の取り組みや事業への参加に対するインセンティブ措置					
期待される効果	・社会全体で個人の健康づくりを支える機運を醸成し、事業の参加による圏域住民の交流増加が期待できる。 ・行政施設やサービス利用率の向上、特産品のPR、各種まちづくり活動に対する市民意識の向上につながる。					
事業費見込額 (千円)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	計
	0	10,000	10,000	10,000	10,000	40,000
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・南砺市は、本事業の実施に係る事務局として調整及び取りまとめを行う。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。（原則人口割）					

事業名	企業誘致の一体的推進			関係市	全市	
事業概要	圏域における企業誘致を促進するため、立地環境のPR活動や企業ニーズ把握のための調査、域内外の企業間のマッチング等に一体的に取り組む。 〔主な事業〕 ・圏域企業と3大都市圏企業のマッチングを図るビジネス交流交歓会の実施 ・都市圏での情報発信・収集や効果的な訪問活動の展開（誘致事務所の設置） ・企業の立地動向やニーズ把握のためのアンケート実施、企業ニーズに対応した立地環境のPR ・適地調査実施に係る協議					
期待される効果	3大都市圏の企業等の情報収集、PR活動の拡充が期待できるとともに、企業ニーズの把握によって計画的かつ効果的な企業団地等の活用が期待できる。また、圏域企業と都市圏企業のマッチング機会の拡大を図ることができる。					
事業費見込額 （千円）	2016（H28）	2017（H29）	2018（H30）	2019（H31）	2020（H32）	計
	4,345	10,345	10,345	10,345	10,345	45,725
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負 担等に係る基本的 な考え方	・高岡市は、本事業の実施に係る事務局として調整及び取りまとめを行う。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。					

事業名	就業マッチング支援事業			関係市	全市	
事業概要	(1) 圏域による合同就職説明会等の実施 (2) Uターン・Iターン就職支援による圏域定着の促進 (3) 圏域内企業に対する総合的な求人サポート（首都圏の就職説明会への出展支援や魅力発信セミナーの開催等）					
期待される効果	(1) 説明会の規模を圏域レベルに引き上げることにより、参加企業、業種、開催地（圏域内～首都圏など）の幅が広がり、参加学生等の増加が見込まれ、より多くの雇用創出が期待される。 (2) 首都圏への人材流出を防ぎ、圏域の人口増加が期待できる。 (3) 求人企業の魅力を求職者へ発信することにより、効果的なマッチングを図る。					
事業費見込額 （千円）	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	計
	0	15, 000	15, 000	20, 000	20, 000	70, 000
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担 等に係る基本的な考え方	・ 本事業は、関係市において共同で実施する。 ・ 費用負担は、関係市の協議において決定する。					

事業名	歴史的建造物の保全・活用事業			関係市	全市	
事業概要	定住促進や観光振興など地域の活性化につなげるため、歴史的建造物や景観上重要な建造物の保全・活用を図る。 〔主な事業〕 ・各市の活用事例を用いた見学会や勉強会の実施、事例集の作成によるノウハウの共有化 ・保全・用途変更に係る法制面、技術面の課題整理 ・県の「空き家改修支援モデル事業費補助金」の活用推進と、より有効な事業の調査・検討					
期待される効果	歴史的建造物等の保全・活用に係る諸課題、ノウハウを共有することにより、これらの建物を活かした地域活性化が期待される。					
事業費見込額 (千円)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	計
	0	3,300	3,300	3,300	3,600	13,500
国・県補助事業の 名称・補助率等	移住促進のための空き家改修支援事業費（県・市・移住者それぞれ1/3）					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・高岡市は、本事業の実施に係る事務局として調整及び取りまとめを行う。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。（原則均等割）					

④ 災害対策

【連携協約の内容】

自然災害や有害鳥獣等の各種対策に係る連携体制の構築・強化に取り組む。

事業名	広域防災連携事業			関係市	全市	
事業概要	(1) 圏域内で連携し、地域の防災リーダーとなる防災士などを育成し、地域防災力の要となる自主防災組織の活動の支援・活性化と防災力の強化を図る。 (2) 隣接市の住民の避難に際し、市域を超えた避難所への受入れを行うとともに、各市が最大規模で被災することを想定して作成した災害備蓄計画を基に、圏域の災害備蓄計画を策定し、食料品以外の資機材の連携備蓄を図る。					
期待される効果	(1) 圏域が連携して取り組むことにより、防災士が圏域内のより多くの情報を共有し、情報交換できるとともに、県事業で養成した防災士の活動の場を広げることができる。 (2) 備蓄数が不足している簡易トイレや発電機を共有することで、資機材を有効に活用できるとともに災害備蓄費用を最小化することが期待できる。					
事業費見込額 (千円)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	計
	0	18,487	18,487	18,487	18,487	73,948
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・高岡市及び射水市は、本事業の実施に係る調整及び取りまとめを行う。 ・高岡市は、自主防災組織の活動支援及び防災力強化に係る施策の事務を統括する。 ・射水市は、圏域の災害備蓄計画策定に係る事務を統括する。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。					

事業名	有害鳥獣対策事業			関係市	全市	
事業概要	農林水産物被害の減少を図るため、圏域各市による鳥獣被害対策の情報交換により、先進的な取り組みをPRし、対策事例の共有化や事前対策に活用するなど、圏域全体で被害対策に取り組む体制を整備する。					
期待される効果	有害鳥獣に対する活動のレベルが上がることにより、人や作物への被害減少のほか、人材育成や技術普及に結びつくことが期待できる。					
事業費見込額 (千円)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	計
	0	1,800	1,800	1,800	1,800	7,200
国・県補助事業の 名称・補助率等	鳥獣被害防止総合対策交付金（国1/2）					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・高岡市は、本事業の実施に係る事務局として調整及び取りまとめを行う。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。					

事業名	庄川左岸地区洪水対策連携事業			関係市	高岡市・砺波市 小矢部市・南砺市	
事業概要	砺波平野「庄川左岸地区」の農地防災事業による放水路・排水路・洪水調整池の整備（国営事業：H32.3完了予定、県営事業：H36.3完了予定）に伴い、関係市と土地改良区が連携し、雨天時の洪水対策の一元化を図る。					
期待される効果	雨天時の農業用水路の機能低下解消や家屋・農作物等の浸水被害防止が期待できる。					
事業費見込額 （千円）	2016（H28）	2017（H29）	2018（H30）	2019（H31）	2020（H32）	計
	0	785	785	34,230	34,230	70,030
国・県補助事業の 名称・補助率等	国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）（国1/2）※H31から					
役割分担・費用負担 等に係る基本的 な考え方	・本事業は、関係市において共同で実施する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。					

⑤ 環境

【連携協約の内容】

環境負荷の低減と持続可能な社会形成に向け、環境保全活動や各種生活関連機能の相互連携に取り組む。

事業名	環境と共生する社会経済形成事業			関係市	全市	
事業概要	圏域の山から海に至る環境保全活動（啓発・学習活動、体験活動、成果還元活動等）を推進する。					
期待される効果	圏域の団体（企業等）と連携し、環境保全活動や啓発等を実施することにより、環境と共生した持続可能な社会を次世代に引き継ぐことが期待できる。					
事業費見込額 （千円）	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	計
	840	740	840	740	840	4,000
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・高岡市及び射水市は、本事業の実施に係る調整及び取りまとめを行う。 ・高岡市は、圏域の環境保全施策全般に係る事務を統括する。 ・射水市は、環境保全に係る啓発・学習活動の事務を統括する。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。（原則人口割）					

事業名	生活関連機能相互連携事業			関係市	全市	
事業概要	圏域各市の生活関連機能・サービスに係る相互連携の推進を図る。 〔主な事業〕 ・一般廃棄物処理連携（施設の相互応援体制の構築） ・下水道整備の促進 ・消費生活相談業務連携					
期待される効果	・一般廃棄物処理施設の事故や災害発生時における円滑な処理の遂行のほか、環境負荷の軽減やごみ処理コストの縮減が期待できる。 ・流域下水道整備の早期事業化や効果的な下水の排除・処理が期待できる。 ・消費生活相談事例の蓄積や専門性向上が期待できる。					
事業費見込額 （千円）	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	計
	0	4,000	1,000	1,000	1,000	7,000
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担 等に係る基本的 な考え方	・高岡市及び砺波市は、本事業の実施に係る調整及び取りまとめを行う。 ・高岡市は、一般廃棄物処理連携に係る事務を統括する。 ・砺波市は、下水道整備の促進及び消費生活相談業務連携に係る事務を統括する。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。（原則人口割）					

B 結びつきやネットワークの強化に係る分野

① 地域公共交通

【連携協約の内容】

住民の移動手段となる電車・バス等、地域公共交通のネットワーク強化に係る連携施策に取り組む。

事業名	地域公共交通活性化事業			関係市	全市	
事業概要	圏域住民の日常生活の足として利用される地域公共交通のあり方・存続に向けた課題整理や調査・研究等を実施する。					
期待される効果	地域公共交通の利用促進や利便性の向上に加え、将来的な圏域住民の移動手段の確保、低炭素化の推進につながる事が期待できる。					
事業費見込額 (千円)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	計
	34,905	25,400	6,000	0	0	66,305
国・県補助事業の 名称・補助率等	訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・高岡市は、本事業の実施に係る事務局として調整及び取りまとめを行う。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。					

② 地域内外の住民との交流・移住促進

【連携協約の内容】

定住・移住に係る総合的支援、圏域内外の住民との交流促進、住環境の発信等、圏域定着の促進・強化に取り組む。

事業名	定住・移住トータルサポート事業			関係市	全市	
事業概要	都市圏との交流推進や圏域内への定住・移住に関する総合的支援の展開を図る。 〔主な事業〕 ・定住・移住サポートステーションの首都圏設置 ・協力隊員ネットワーク形成 ・空き家情報バンクの共同運営 ・都市と農村漁村の交流推進（グリーンツーリズム）					
期待される効果	・協力隊員の充実した移住生活につながる情報の提供、共有の実現、モチベーション向上による地域の活性化、後継者対策及び就業先の情報提供による定住率の向上 ・空き家情報バンクの共同運営により、移住者にわかりやすい情報発信や同一エリアを活動母体とする官民の連携が可能 ・農村漁村の交流推進による交流人口の増加や定住促進					
事業費見込額 （千円）	2016（H28）	2017（H29）	2018（H30）	2019（H31）	2020（H32）	計
	8,324	49,948	27,948	27,948	27,948	142,116
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担等に係る基本的な考え方	・高岡市及び氷見市は、本事業の実施に係る調整及び取りまとめを行う。 ・高岡市は、定住・移住促進施策全般に係る事務を統括する。 ・氷見市は、協力隊員ネットワーク形成に係る事務を統括する。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。					

C 圏域マネジメント能力の強化に係る分野

【連携協約の内容】 人事交流、統一的な職員研修、公共施設の相互利用、権限移譲の調査・研究等、圏域マネジメント能力の強化に係る連携施策に取り組む。
--

事業名	職員人事交流・統一的な職員研修			関係市	全市	
事業概要	圏域 6 市の職員による人事交流や職員個々の素養やスキルアップにつながる研修を統一的に実施する。					
期待される効果	・ 各々の組織では得がたい経験を積み、視野の拡大や柔軟な発想力を身につけることにより、連携事業の計画達成やサービス向上に資するとともに将来の市政を担う人材を中長期的な視点で育成することができる。また、人事交流を機会として、都市間交流・連携の一層の推進が期待できる。 ・ 講師の共有等による効率化や予算規模拡大に伴う研修メニューの充実、実力ある講師の招へいが可能になる。より高度かつ効果的な人材育成が図られるほか、職員間の交流が進むことにより、人材面における一層の連携推進が期待できる。					
事業費見込額 (千円)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	計
	0	600	600	600	600	2,400
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担等に係る基本的 な考え方	・ 本事業は、関係市において共同で実施する。 ・ 費用負担は、関係市の協議において決定する。（原則均等割）					

事業名	公共施設マネジメント推進事業			関係市	全市	
事業概要	圏域における既存公共施設の総量適正化及び類似施設整備の抑制に向けた体制・仕組みを構築する。 〔主な事業〕 ・各市が保有する公共施設の現状・課題について情報共有、意見交換 ・公共施設の相互利用及び共同設置に関する方針の策定 (対象施設の条件設定、既存対象施設の抽出、相互利用や共同設置に関するルールづくりなど)					
期待される効果	・ 既存施設の総量適正化 ・ 類似施設整備の抑制 ・ 施設の相互利用の推進による市民の利便性向上					
事業費見込額 (千円)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	計
	0	0	0	0	0	0
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担 等に係る基本的な考え方	・ 本事業は、関係市において共同で実施する。 ・ 費用負担は、関係市の協議において決定する。					

事業名	権限移譲に係る調査・研究			関係市	全市	
事業概要	将来にわたる圏域活力の維持や住民サービスの向上の観点から、連携中枢都市圏として必要となる、中核市レベルの権限移譲（保健所、児童相談所等）について調査・研究を行う。					
期待される効果	・各種行政機能の一元化により、事業の効率化やワンストップ化の充実化を図り、きめ細やかな住民サービスを提供する。 ・単独市では実現できない新たな施策展開や中核市レベルの政策を国・県に提案可能となる。					
事業費見込額 （千円）	2016（H28）	2017（H29）	2018（H30）	2019（H31）	2020（H32）	計
	0	0	0	0	0	0
国・県補助事業の 名称・補助率等	—					
役割分担・費用負担 等に係る基本的 な考え方	・高岡市は、本事業の実施に係る調整及び取りまとめを行う。 ・他関係市は、本事業の推進に協力する。 ・費用負担は、関係市の協議において決定する。					

2 進行管理

(1) 基本目標

本ビジョンを推進するにあたり、圏域の役割である「経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」、「生活関連機能サービスの向上」の各分野について、計画期間5年間における基本目標を次のとおり設定します。

とやま呉西圏域都市圏ビジョン 基本目標

圏域の役割	基本目標			備考
	指標	現状値（調査年）	目標値（2020年）	
圏域全体の経済成長のけん引	付加価値額（GRP）	1兆5,836億円 （2010年）	1兆7,000億円	環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」より算出
高次の都市機能の集積・強化	滞在人口率 （滞在人口／定住人口）	1.77倍 （2015年・平日）	1.80倍 （2020年・平日）	RESASより算出
生活関連機能サービスの向上	圏域人口の社会動態 （転入者数－転出者数）	－394人 （2015年）	±0人 （移動均衡）	各市の住民基本台帳より算出

(2) 重要業績評価指標 (KPI : Key Performance Indicator)

また、圏域の取り組み成果を検証するため、連携協約に基づく各施策に重要業績評価指標 (KPI) を設定し、適宜、進行管理を行いながら連携事業に取り組みます。

連携施策の重要業績評価指標 (KPI)

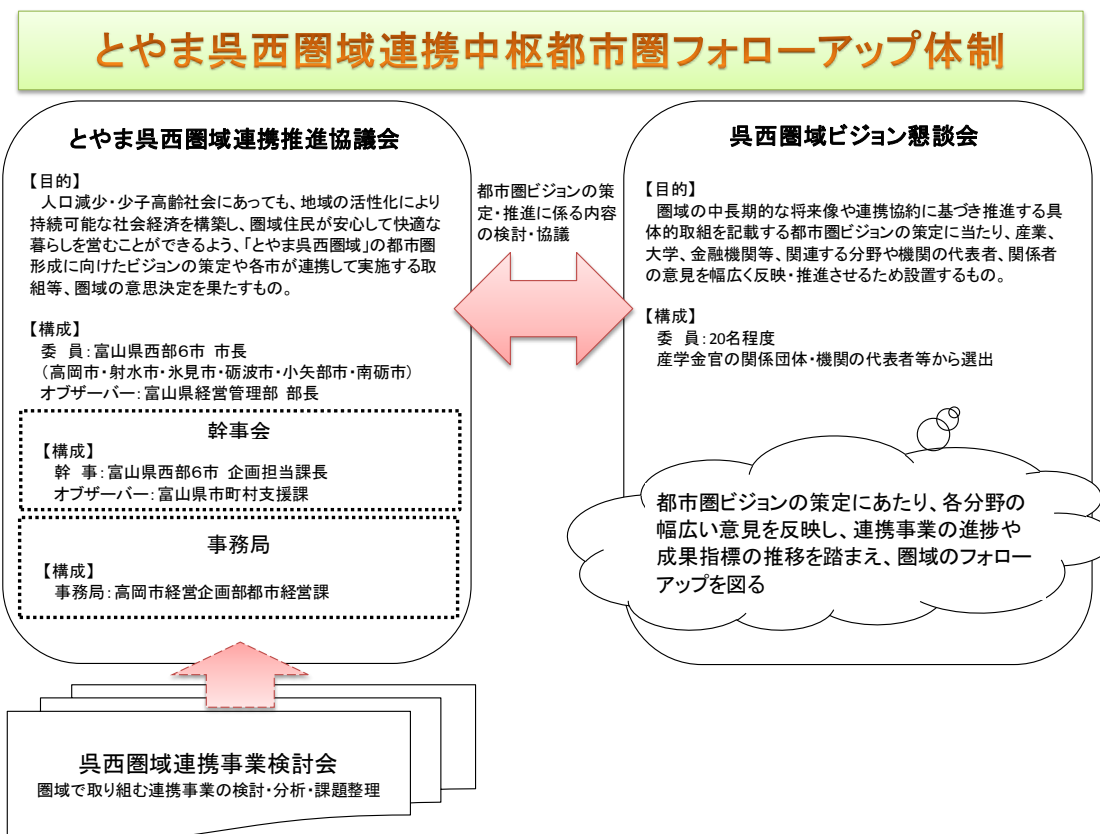
圏域の役割	連携施策	重要業績評価指標 (KPI)	単位	現状値 (調査年)	目標値 (2020年)
ア 圏域 全体 の 経 済 成 長 の けん 引	(1) 産学金官民一体となつた圏域の成長戦略の策定	とやま呉西圏域の連携事業数	事業 (延べ数)	32 (2016年)	35
	(2) 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進	とやま呉西圏域共創ビジネス研究所の受講生から3年以内に新規事業に着手する人の割合	%	68 (2015年)	75
		創業支援セミナーを通じた起業・創業件数	件 (延べ数)	18 (2015年)	113
	(3) 地域資源を活用した商品・サービスの開発、販路開拓の推進	伝統産品の展示PR件数	件	23 (2015年)	27
		農業産出額	百万円	28,760 (2014年)	28,760
	(4) 戦略的な観光施策	主要観光地入込客の平均伸び率 (現状値は主要観光地入込客数の2013年-2015年の平均値)	%	5,191,859人	毎年2%増加
イ 高次 の 都 市 機 能 の 集 積・ 強 化	(1) 高度な医療サービスの提供	診療実績	% 上段：高岡 下段：砺波	24.5(2015年) 50.5(2015年)	20%以上 20%以上
	(2) 広域的公共交通網の構築	主要駅の一日あたり乗車人数	人/日	23,878 (2015年)	23,400
	(3) 高等教育・研究開発の環境整備	地元大学生の県内就職率	%	54.8 (2014年)	10%以上増加
		特許件数	件	2,409 (2016年)	毎年5%増加

圏域の役割	連携施策		重要業績評価指標（KPI）	単位	現状値 （調査年）	目標値 （2020年）
ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	A 生活機能の強化に係る政策分野	(1) 地域医療・介護・福祉	平均健康寿命（日常生活動作が自立している期間の平均）	歳	男性78.64歳 女性83.78歳 (2014年)	男性1.16歳増 女性0.54歳増
		(2) 教育・スポーツ	スポーツ大会・合宿等誘致件数	件 (延べ数)	—	3
		(3) 地域振興	企業立地件数	件 (延べ数)	5 (2015年)	30
		(4) 災害対策	各市の防災訓練及び防災士勉強会に参加する防災士の数	人	—	210
		(5) 環境	①環境啓発事業への参加人数 ②環境啓発事業への参画企業・団体数	①人 ②団体 (共に延べ数)	—	①1,800 ②25
	B 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	(1) 地域公共交通	万葉線の乗車人数	人	1,185,000 (2015年)	1,185,000
		(2) 地域内外の住民との交流・移住促進	移住・定住者数 (現状値は移住者の2013年-2015年の平均値)	人	136	150
	C 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野		①人事交流の実施件数 ②研修実績	①件 ②回 (共に延べ数)	—	①12件 ②4回

(3) 推進及びフォローアップ体制

本圏域の連携中枢都市圏形成に伴う推進体制について、圏域の中長期的な将来像や5年間の具体的な取組を定める都市圏ビジョンの策定や圏域で実施する連携事業など、圏域の意思決定を伴う事項は6市で構成する「とやま呉西圏域連携推進協議会」において協議を図ります。

都市圏ビジョンの策定や推進にあたっては、産学金官の代表者で構成する「呉西圏域ビジョン懇談会」において検討を図り、各分野の幅広い意見を反映するとともに、連携事業の進捗状況や成果指標等の推移を踏まえ、圏域のフォローアップを行います。



資料編

とやま呉西圏域連携中枢都市圏 取り組みの経過

平成27年度	
(H27) 8月	○第1回富山県西部圏域連携都市圏形成推進協議会 ・富山県西部圏域連携都市圏形成推進宣言及び協議会設置 ○富山県西部圏域連携都市圏形成推進協議会 第1回幹事会 ・連携する取り組みの検討・協議 など
11月	○富山県西部圏域連携都市圏形成推進協議会 第2回幹事会 ・連携中枢都市圏形成に係るスケジュール など
1月	○第1回呉西圏域連携事業検討会 ・連携事業の方向性協議 など
(H28) 2月	○第2回呉西圏域連携事業検討会 ・各市の役割分担に係る協議 など ○富山県西部圏域連携都市圏形成推進協議会 第3回幹事会 ・圏域形成に向けた方向性・取り組み など ○第2回富山県西部圏域連携都市圏形成推進協議会 ・圏域形成に向けた方向性・取り組み など
3月	○第3回呉西圏域連携事業検討会 ・連携事業の協議・検討 など

平成28年度	
(H28) 4月	○富山県西部圏域連携都市圏形成推進協議会 第4回幹事会 ・(仮称)「呉西圏域」都市圏ビジョン(たたき台)の協議 など ○第1回呉西圏域ビジョン懇談会 ・呉西圏域ビジョン懇談会の設置 ・(仮称)「呉西圏域」都市圏ビジョン(たたき台)の提案
5月	○富山県西部圏域連携都市圏形成推進協議会 第5回幹事会 ・(仮称)「とやま呉西圏域」都市圏ビジョン(中間報告)の協議 など
6月	○パブリックコメントの実施
7月	○富山県西部圏域連携都市圏形成推進協議会 第6回幹事会 ・(仮称)「とやま呉西圏域」都市圏ビジョン(原案)の協議 など
8月	○第2回呉西圏域ビジョン懇談会 ・とやま呉西圏域都市圏ビジョン(原案)の提案 など ○第3回富山県西部圏域連携都市圏形成推進協議会 ・協議会名称変更(とやま呉西圏域連携推進協議会)及び要綱改正 ○とやま呉西圏域連携推進協議会 第1回幹事会 ・連携協約に係る協議 など ○とやま呉西圏域連携中枢都市宣言
10月	○連携協約締結式 ○とやま呉西圏域都市圏ビジョンの策定 ○第4回呉西圏域連携事業検討会 ・新年度予算の検討・協議 など ○とやま呉西圏域連携推進協議会 第2回幹事会 ・財政措置の取り扱いに係る協議 など
12月	○とやま呉西圏域連携推進協議会 第3回幹事会 ・とやま呉西圏域都市圏ビジョンの基本目標及び連携施策の重要業績評価指標(KPI)の協議 など
(H29) 2月	○連携中枢都市圏形成記念セミナーの開催 ○とやま呉西圏域連携推進協議会 第4回幹事会 ・とやま呉西圏域都市圏ビジョン(第1回改訂版)(案) など ○第3回呉西圏域ビジョン懇談会 ・とやま呉西圏域都市圏ビジョン(第1回改訂版)(案)の提案 など ○第1回とやま呉西圏域連携推進協議会 ・とやま呉西圏域都市圏ビジョン(第1回改訂版) など

とやま呉西圏域連携推進協議会設置要綱

(目的及び設置)

第1条 高岡市、射水市、氷見市、砺波市、小矢部市及び南砺市で構成する圏域（以下「圏域」という。）が、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するため、とやま呉西圏域連携推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(協議会の事務)

第2条 協議会は、次に各号に掲げる事務を行う。

- (1) とやま呉西圏域の形成における構想策定・推進に関すること。
- (2) 関係機関等への要望活動に関すること。
- (3) 圏域の連絡調整に関すること。
- (4) 前各号の目的達成に必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 協議会は、委員6名及びオブザーバー1名により組織する。

2 委員は、次の職にある者をもって充てる。

圏域を構成する市の長

3 オブザーバーは、次の職にある者をもって充てる。

富山県経営管理部 部長

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長2名を置く。

- 2 会長は、委員が互選する。
- 3 副会長は、会長が指名する。
- 4 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 5 副会長は、会長を補佐する。
- 6 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、副会長がその職務を代理する。
- 7 協議会の会議は、会長が招集し、会長が主宰する。

(幹事会)

第5条 協議会に付議すべき事項を審議するため、協議会に幹事会を置く。

- 2 幹事会は、圏域を構成する各市の企画担当課長にある者をもって充てる。
- 3 幹事会にオブザーバーを置く。
- 4 オブザーバーは、富山県経営管理部長が指名する者をもって充てる。

(監事)

第6条 協議会の会計を監査するため、協議会に監事3名を置く。

- 2 監事は、協議会の会長が指名する。

(事務局)

第7条 協議会の事務局は、会長が属する市に置く。

2 事務局に事務局長を置く。

3 事務局長は、会長の命を受け、協議会の事務を掌理する。

(経費)

第8条 協議会の経費は、関係市の分担金その他の収入をもって充てる。

(会計)

第9条 協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成27年8月4日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年8月3日から施行する。

とやま呉西圏域連携推進協議会 委員名簿

	自治体名	役職	氏名
会長	高岡市	市長	高橋 正樹
副会長	射水市	市長	夏野 元志
副会長	砺波市	市長	夏野 修
	氷見市	市長	本川 祐治郎
	小矢部市	市長	桜井 森夫
	南砺市	市長	田中 幹夫
オブザーバー	富山県	経営管理部長	H27.8～H28.3 新田 一郎
			H28.4～ 山崎 康至

呉西圏域ビジョン懇談会 設置要綱

(設置)

第1条 とやま呉西圏域都市圏ビジョンの策定及び推進に当たり、有識者等の意見を幅広く反映させるため、呉西圏域ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

(内容)

第2条 懇談会は、前条の目的を達成するため、次の事項について検討を行い、必要な意見及び助言を行うものとする。

- (1) とやま呉西圏域都市圏ビジョンの策定及び推進に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 懇談会は、次に掲げる者を委員として組織する。

- (1) とやま呉西圏域連携推進協議会の委員
- (2) 懇談会の目的及び活動の趣旨に賛同する団体等から選出された者

(座長)

第4条 懇談会に座長を1名置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 座長は、懇談会を代表し、会務を総理する。

(会議)

第5条 懇談会は、とやま呉西圏域連携推進協議会の会長が招集する。

- 2 座長は、必要があると認めるときは、懇談会に委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(事務局)

第6条 懇談会の事務局は、高岡市経営企画部都市経営課に置く。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、座長が懇談会に諮って定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成28年4月27日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年8月3日から施行する。

呉西圏域ビジョン懇談会 委員名簿

平成29年2月27日現在

	所属団体等	役職	委員
1	富山大学	経済学部長	中村 和之
2	富山県立大学	副学長	松本 三千人
3	高岡商工会議所	会頭	川村 人志
4	一般社団法人富山県アルミ産業協会	会長	山下 清胤
5	射水市商工協議会	会長	牧田 和樹
6	新湊漁業協同組合	代表理事組合長	尾山 春枝
7	氷見商工会議所	会頭	寺下 利宏
8	氷見市農業協同組合	代表理事組合長	伊藤 宣良
9	砺波商工会議所	会頭	北村 憲三
10	砺波市地区自治振興会協議会	会長	杉本 庄一
11	小矢部市商工会	会長	林 説則
12	小矢部市観光協会	会長	中嶋 秀明
13	南砺市観光協会	会長	川合 声一
14	福光農業協同組合	代表理事組合長	齊藤 勇一
15	株式会社日本政策投資銀行	富山事務所所長	鵜殿 裕
16	高岡市	市長	高橋 正樹
17	射水市	市長	夏野 元志
18	氷見市	市長	本川 祐治郎
19	砺波市	市長	夏野 修
20	小矢部市	市長	桜井 森夫
21	南砺市	市長	田中 幹夫
22	富山県	経営管理部長	山崎 康至